

むさしの自作ビオトープメカニズム(ときどき更新)

ビオトープに完成はありません。毎年植物は育ち、様々な生物が加わり、春夏秋冬、様々な姿に変わっていきます。中には、大量発生したり、いなくなってしまう生き物もいると思います。しかしながら、どうしたら生態系のバランスを維持できるか、何かを加えたり、環境に変化を与えたり、隠れ場所を作ったり、常に観察し、研究し、工夫をしながら育てていくことが目的となります。

子どもから大人までが参加する、ビオトープ研究チームとかも、作ってみたいです。(NPO 法人準備中！)



【生息するもの】

各種鳥類、動物(タヌキ?アライグマ?ハクビシン?), アオモンイトトンボ、ギンヤンマ、ミヤマアカネ、…
アカハライモリ、ゲンゴロウ、ミズスマシ、タニシ、カワニナ、ヤゴ、アカガエル、ツチガエル、アオガエル、トノサマガエル、ニホンイシガメ、クサガメ、スジエビ…
オイカワ、カワムツ、モツゴ(クチボソ)、タモロコ、ホンモロコ、キンブナ、ギンブナ、ドジョウ、メダカ、ニゴイ、スジエビ、ナマズ、ギバチ、ヨシノボリ、カマツカ、…
ブナ…
モミジ、ウメ、ザクロ、クワ、マキ、ロウバイ、ヒメリンゴ、カボス、レモン、…
ユキノシタ、ミョウガ、ヤブミョウガ、エゾミソハギ、チグサ、タケニグサ、オランダハッカ、ギボウシ各種、ゼニバアオイ、ツツブキ、シャガ、タイワンホトギス、セリ、クレソン、フトイ、ミソソバ、ハルタデ、…
花各種(鉢植えのホスピス)、

まだまだ、いるよー！

【上の池:水深 1.2m】
スイレン、ハス、ジュンサイ、ショウブ、

【水田】
イネ(モチ米)、

【下の池:水深 0.7m】
スイレン、

- 大雨時、排水①の許容を越えた場合、排水②③④が機能。学園全体に埋められた浸透ピット(総延長80m) & および浸透井戸(深さ6m×4カ所)へ。→そして海へ。
- D・E・Fの各区域は、堰①②③により、それぞれ区域ごとに水面高の調節が可能。
- 春夏秋冬、天候、一年を通して多様に変化し巻き起こる現象を目にし、学び、考え、工夫し、試す、といった一連の行為を実験、学び、トライとして位置付けていく。



学園 HP

Facebook

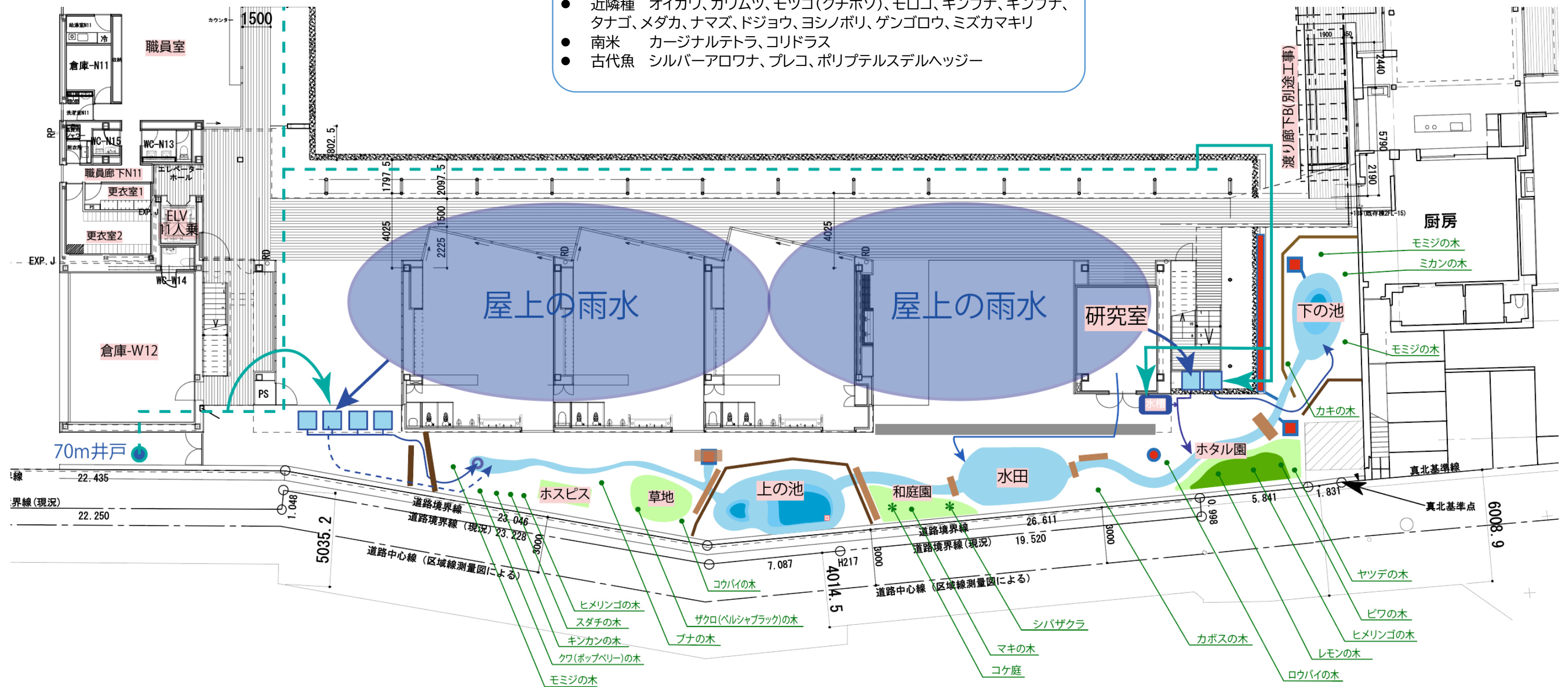
Instagram

Twitter

経過 FB(参考)

【生物研究室】

- 近隣種 オイカワ、カワムツ、モツゴ(クチボソ)、モロコ、キンブナ、ギンブナ、タナゴ、メダカ、ナマズ、ドジョウ、ヨシノボリ、ゲンゴロウ、ミズカマキリ
- 南米 カージナルテトラ、コリドラス
- 古代魚 シルバーアロワナ、プレコ、ポリプテルスデルハッジー



【ご寄付を頂いた皆様】

中華料理一翠さま(ホタル付近の敷石、約10個)／増田コーポレーションさま(大きな景石、約20個)／池谷政則さま(山野草)／細田昭男さま(水槽)

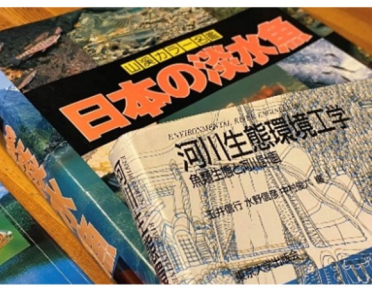
【作業のお手伝いを頂いた皆様】

武蔵村山の内野造園さま(大きな石の搬入、大きな木の植栽、枕木の設置、大きな掘削など)／増田コーポレーションさま(大きな石の運搬)／居島工務店さま(上の池の柵)。

その他、フェンス設置、コンクリート敷設、防水シート張り、川や池の造成、雨水タンクの設置、自動給水システム、などなど、自作で行っています。

重要なのは物理デザイン。できる限り自然循環を目指した「園ビオトープ造成」が環境維持と進化には必要。
園の日常、子どもの特性を知っているからこそその強み。ご相談もお受けいたします。
HM-GROUP

2022 年 6 月



2022 年 12 月

